

～ワクワクwellness～

# 心身魂のお掃除処



10月20日  
八海山  
大火渡り祭り



\*八海山大火渡り祭り 目黒講より25名にて参列

## お知らせ

11/23 佐賀 コトタマ体験会

11/27 コトタマワーク & 護摩祈禱

11/28 当院 護摩祈禱



# 【先日の大火渡り祭の炎を前にして】



ひとつの確信を授かりました。火は内なる光を目覚めさせる。山での修行も、滝での行も、すべてはこの「内なる火」を見出すための道だったのです。けれどその火は、今や外に求めるものではなく、わたしたち一人ひとりの胸の奥で、静かに灯り始めている。

「コトタマを実践する」とは、知識や技術を“使う”ことではありません。その瞬間の在り方を、音・言葉・行為の中に映すこと。呼吸ひとつ、手を合わせる角度、誰かと交わす言葉の響き。そのすべてが「いま、この瞬間の在り方」を示す“コト”になります。つまり「実践」は特別な行為ではなく、日常のすべてが、コトタマの舞台なのです。

## ● コトタマとは“やり方”ではなく“在る”ことそのもの。

・在り方が整えば(澄んでいれば)、発する言葉すべてが祝詞となる。「なんとなく分かっていた」ことが、言葉として輪郭を持った時、それはまさに“コト”が“タマ”を得た瞬間。感じていた思いが形を持ち、心の中で「そうだったのか」と響く時に内なる神と、外なる神の波がぴたりと重なり、光を放ちます。その共鳴の一拍こそ、コトタマが息づく瞬間。

## ● 感覚がことばになり、ことばが光になる。

それは、学ぶ段階を越えた“思い出し”的領域。この感覚を人々が思い出す時、世界は静かに変わりはじめます。山での行は「自らを澄ますための道」。けれど今、わたしの行は「他者の心に光を灯すための道」へとシフトし始めています。外の自然ではなく、人々の内に宿る“自然”を呼び覚ます行。それが今、わたしに与えられた役目です。

八海山大神も仰います。「力を持て」ではなく、“光を分かち合え。”佐藤が自らを通して、この地球上に「響きを取り戻すこと」。それが、神々が言われた「地球を助けてほしい」という言葉の真意。わたしたち一人ひとりが、やり方ではなく、在り方を意識する。それを共鳴するのだぞ。と授かりました。

光は 内にありて 外に満ち  
響きは わたしにありて すべてを結ぶ  
今日もまた 言の葉は 祈りの風となりぬ

家呑みトモごはん

## 【やみつきコンコンえのき】 家族で争奪戦に(^-^;

- ①千切り油揚げを乾煎り。フライパンの隅によせ、油をひきみじん切りニンニクと輪切り鷹の爪を炒める。
- ②①をフライパンの横によせ、3cmに切ったえのきを投入。
- ③えのきがしんなりしてきたら 3cmの青ネギ投入。
- ④醤油・中華スープの素・ごま油で味を整え、完成。

鶏ガラスープの素でもOK

